

県内経済の概況等について

商工政策課

1 県内経済の概況について(総論)

本県の景気の状態は、日本銀行宮崎事務所の令和元年11月の「宮崎県金融経済概況」においては、「宮崎県の景気は、緩やかな回復を続けている」、宮崎財務事務所の令和元年10月の「宮崎県内経済情勢報告」においては、「県内経済は、緩やかに持ち直している」とされている。

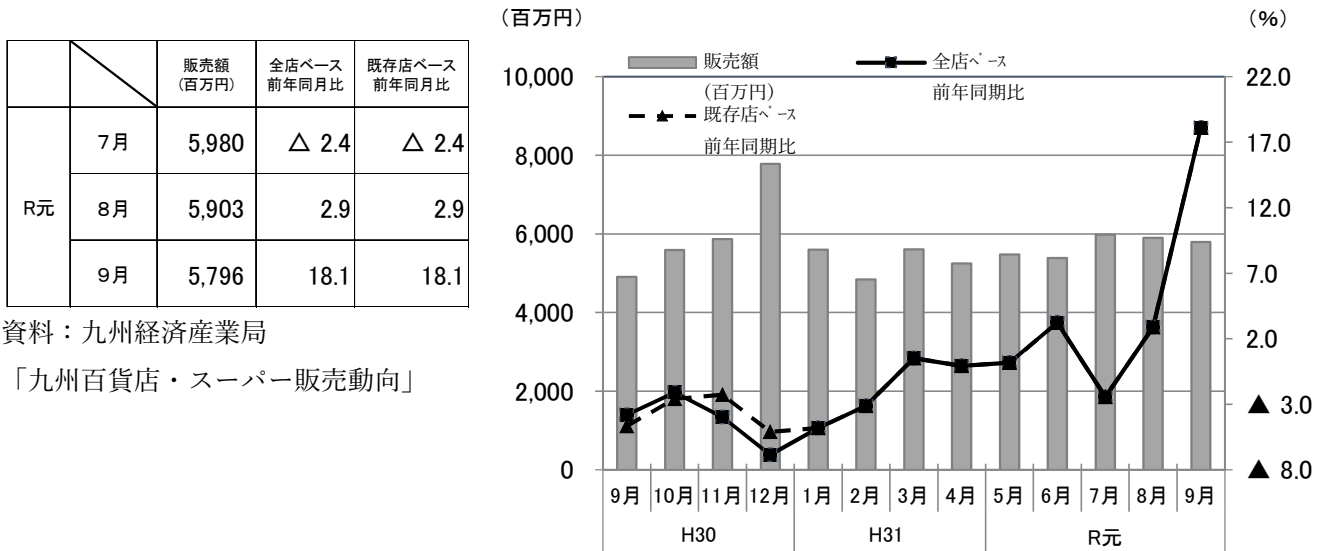
	宮崎県			全国
	日本銀行宮崎事務所 (宮崎県金融経済概況)	宮崎財務事務所 (宮崎県内経済情勢報告)	宮崎県統計調査課 (宮崎県経済の動き)	内閣府 (月例経済報告)
H30 10月	緩やかな 回復を続けている。	緩やかに持ち直している。	全体としては緩やかに 改善している。	緩やかに 回復している。
11月				
12月				
H31 1月	※1月は公表なし。	緩やかに持ち直している。	生産面の一部に弱い動きがみ られるものの、雇用や観光面では 引き続き高い水準を維持してい るなど、全体としては 緩やかに改善している。	このところ輸出や生産の一部に弱さもみ られるが、緩やかに回復している。
2月				
3月				
4月	緩やかな 回復を続けている。			
R元 5月				
6月	※8月は公表なし。	緩やかに持ち直している。 個人消費は、コンビニエンスストア 販売額及び百貨店・スーパー販売 額が前年を上回っているほか、新車 登録・届出台数も前年を上回るな ど、全体として持ち直している。ま た、生産活動は、一部に弱さがみ られるものの、持ち直しつつあるほ か、雇用情勢は改善しているなか で、人手不足感が強い状況が続い ている。	※四半期毎に公表される ため、現在は未公表	輸出を中心に弱さが続いているものの、 緩やかに回復している。
7月				
8月				
9月	緩やかな 回復を続けている。	※四半期毎に公表される ため、現在は未公表	輸出を中心に弱さが長引いている ものの、緩やかに回復している。	
10月				
11月	緩やかな 回復を続けている。 個人消費は、振れを伴いつつも、底堅く推移し ている。観光は、底堅く推移している。 住宅投資は、買家を中心に弱含んで推移して いる。公共投資は、増加している。 生産は、横ばい圏内の動きとなっている。	※四半期毎に公表される ため、現在は未公表	輸出を中心に弱さが長引いている ものの、緩やかに回復している。 先行きについては、当面、弱さが残るもの の、雇用・所得環境の改善が続くなかで、 各種政策の効果もあって、緩やかな回復が 続くことが期待される。ただし、通商問題を 巡る緊張、中国経済の先行き、英国のEU 離脱の行方等の海外経済の動向や金融資 本市場の変動の影響に加え、消費税率引 上げ後の消費者マインドの動向に留意する 必要がある。	

※「宮崎県内経済情勢報告」の矢印の向きは、前期と比較して上向きか、据え置きか、下向きかを表したものの。

2 県内経済の概況について(各論)

(1) 個人消費(百貨店・スーパー販売)

百貨店・スーパー販売額は、令和元年7月は全店ベース・既存店ベースでともに前年を下回っているが、8月から9月にかけて全店ベース・既存店ベースでともに、前年を上回っている。

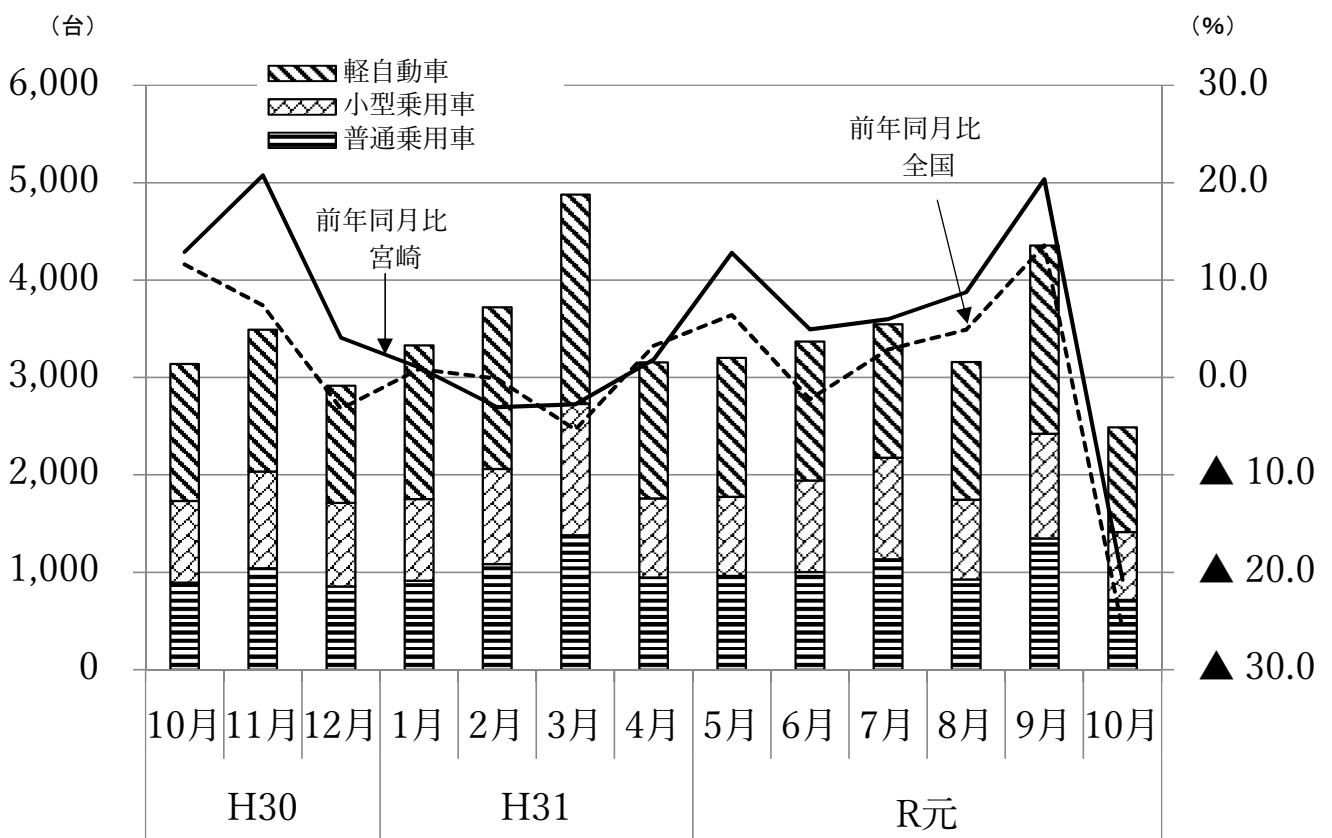


(2) 個人消費(乗用車販売)

乗用車新車登録・届出台数(軽自動車含む)は、宮崎県全体として令和元年9月は前年を上回っているが、10月は前年を下回っている。

		普通乗用車		小型乗用車		軽自動車		宮崎県(全体)	
		台数	前年同月比	台数	前年同月比	台数	前年同月比	台数	前年同月比
R元	8月	927	17.5	818	△ 4.9	1,413	12.6	3,158	8.7
	9月	1,347	35.0	1,075	6.3	1,934	20.1	4,356	20.4
	10月	717	△ 19.8	697	△ 16.9	1,074	△ 23.7	2,488	△ 20.8

資料：自販連宮崎県支部

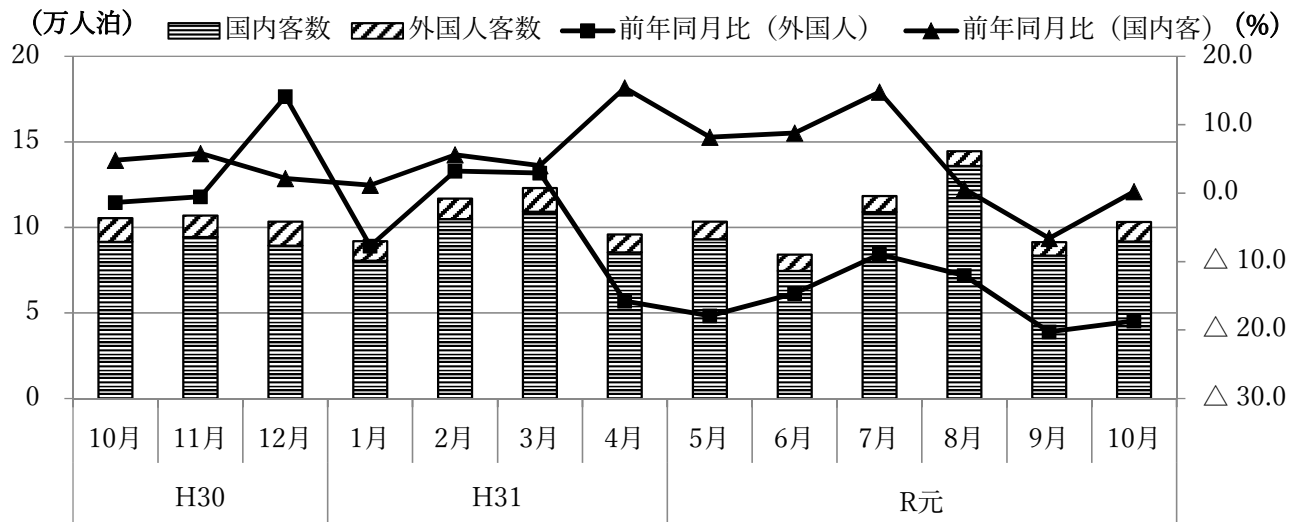


(3) 個人消費(観光)

宮崎市内の主要ホテル・旅館宿泊客数は、令和元年8月以降全体として前年同月比マイナスとなっている。

(単位:人泊)

		全体		国内客数		外国人客数	
			前年同月比		前年同月比		前年同月比
R元	8月	144,463	-0.2	135,848	0.6	8,615	-12.0
	9月	91,426	-8.0	83,427	-6.6	7,999	-20.3
	10月	103,086	-2.3	91,774	0.2	11,312	-18.7



【参考】 宮崎県内地区別の主要ホテル・旅館宿泊客数

(単位:人泊)

		県央		県北		県西		県南		合計	
			前年同月比		前年同月比		前年同月比		前年同月比		前年同月比
R元	8月(47施設)	144,807	-0.4	12,332	-8.1	8,043	+4.9	12,366	-10.9	177,548	-1.6
	9月(47施設)	91,522	-9.2	9,636	-6.3	4,561	-10.2	7,871	-12.7	113,590	-9.3
	10月(43施設)	103,513	-1.9	9,186	-4.0	4,274	-5.7	9,740	-1.3	126,713	-2.2

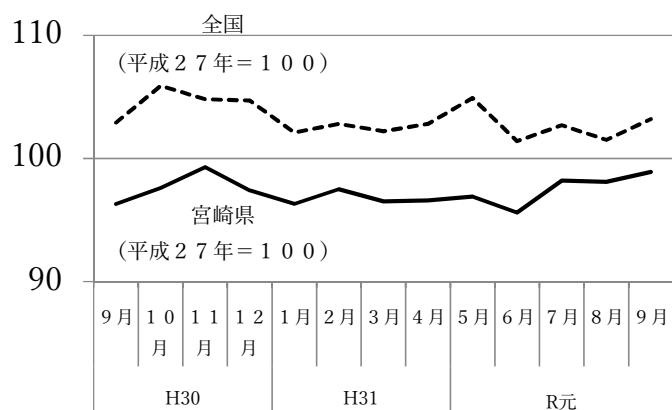
資料: 県観光推進課

(4) 製造業(生産)

本県の令和元年9月の鉱工業生産指数は98.9で、木材・木製品工業が上昇したこと等により、8月と比べ0.8ポイント上昇している。

		全国	宮崎
R元	7月	102.7	98.2
	8月	101.5	98.1
	9月	103.2	98.9

資料: 県統計調査課「宮崎県鉱工業指数」

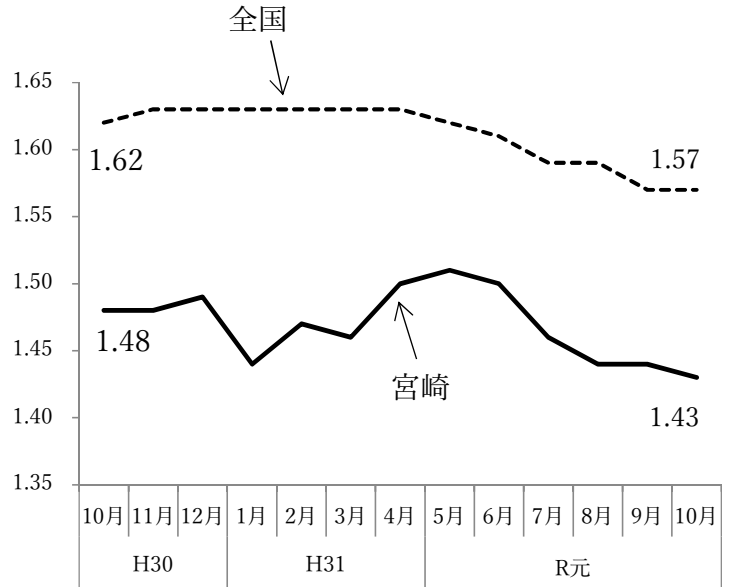
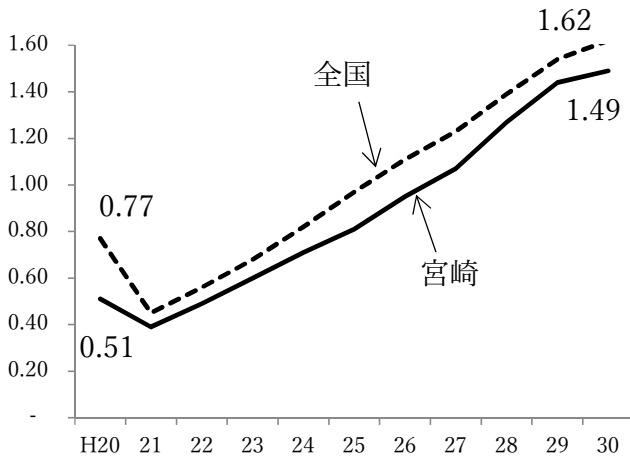


(5) 雇用情勢

ア 有効求人倍率の推移

本県の令和元年10月における有効求人倍率は、1.43倍で全国と比べると0.14ポイント下回っている。また、前月と比べ0.01ポイント下回っている。

	R元		
	8月	9月	10月
全国	1.59	1.57	1.57
宮崎	1.44	1.44	1.43



資料：宮崎労働局

イ 民間事業所への調査

- ・調査対象 民間有料職業紹介事業者及び求人広告事業者
- ・有効回答数 21社
- ・調査期間 令和元年10月28日～令和元年11月8日
- ・調査項目 求人・求職数の変化

(令和元年4～6月期と令和元年7～9月期の比較及び令和元年10～12月期の予想)

	令和元年7～9月期実績 (前期比)			令和元年10～12月期予想		
	回答項目	回答数	割合 (%)	回答項目	回答数	割合 (%)
求人	増えた、少し増えた	11	52.4	増える、少し増える	6	28.6
	変わらない	6	28.6	変わらない	11	52.4
	減った、少し減った	4	19.0	減る、少し減る	4	19.0
求職	増えた、少し増えた	5	23.8	増える、少し増える	3	14.3
	変わらない	10	47.6	変わらない	15	71.4
	減った、少し減った	6	28.6	減る、少し減る	3	14.3

※小数点以下第2位四捨五入。

(事業所の声)

- ・製造業は、国際情勢の影響で生産量が減退し、求人数が減少傾向にある。
- ・求職者は40代～50代の割合が高く、事務職、パートタイム希望者が多い。
- ・求人、求職共に多種多様な就業時間帯、時間数、業務内容を求めているように思われる。